ESG Data

GOVERNANCE ／ ガバナンス

取締役の人数 **10名**

うち監査等委員である取締役 **3名**

うち社外取締役の人数 **2名**

（2024年6月時点）

取締役会開催回数 **15回**	役員の取締役会への出席率 **100%**
重大な情報セキュリティ事故件数 **0件**	セキュリティ研修実施回数 **3回**
コンプライアンス研修実施回数 **5回**	通報・相談案件件数 **5件**

※各データはサンメッセ株式会社単体の2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）における累計数値を報告しています。

ENVIRONMENT ／ 環境

2023年度

INPUT

用紙	22,002t
インキ	375t
PS版	114.3t
PPC用紙	3.8t
ストレッチング フィルム	20.0t
PPバンド	7.3t
購入電力	14,195.7千kWh
都市ガス	505.6千㎥
A重油	0kl
水道	7,902.0㎥
井戸水	789.1千㎥
ガソリン	125.6kl

営業・企画
環境関連製品販売促進
環境品質についても最新の情報を積極的に提供しています。

デザイン・製版
工程のデジタル化
どんどん進化を遂げ、現像液を使用しない刷版も利用しています。

印刷
VOCの削減
多くの化学物質が使用される印刷の工程では、VOC削減が最大の課題です。

製本・加工
包装材料のリサイクル化
最終的に製品になる工程です。目に見えない環境品質には細心の注意を払っています。

配送・納品
エコドライブの実施
安全にそして正確にお客さまに製品を届け、さらにCO_2を削減することが使命です。

お客さま
環境品質の向上
最終の廃棄まで考え環境品質の向上に努めています。

OUTPUT

汚泥（スラッジ）	16.7t
廃油	32.6t
廃酸	0t
廃アルカリ	9.6t
廃プラスチック	89.9t
紙くず（難処理古紙 カーボン）	179.6t
木くず	60.0t
繊維くず	13.0t
用紙量	3,366.4t
リサイクルの廃プラスチック	6.0t
使用済み刷版・アルミ板	114.3t

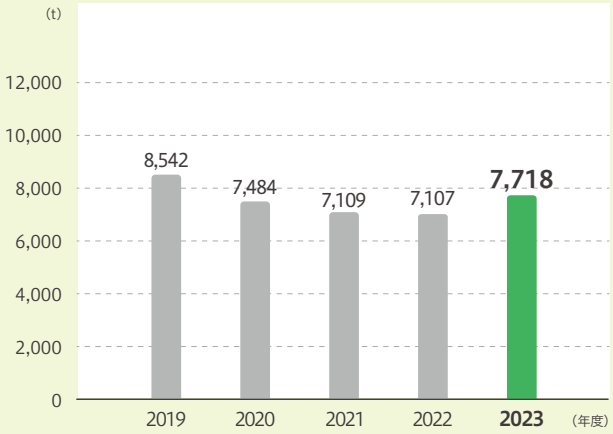
2023年度

リサイクル率 **99.1%**

グリーン購入比率（文具類） **68.6%**

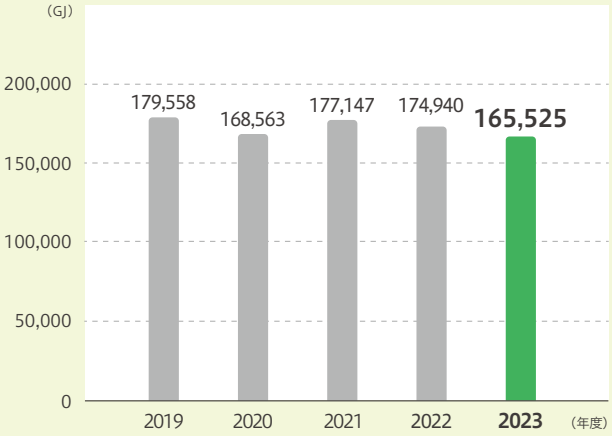
カーボンオフセット件数 **12件**

温室効果ガス排出量（Scope1+2）

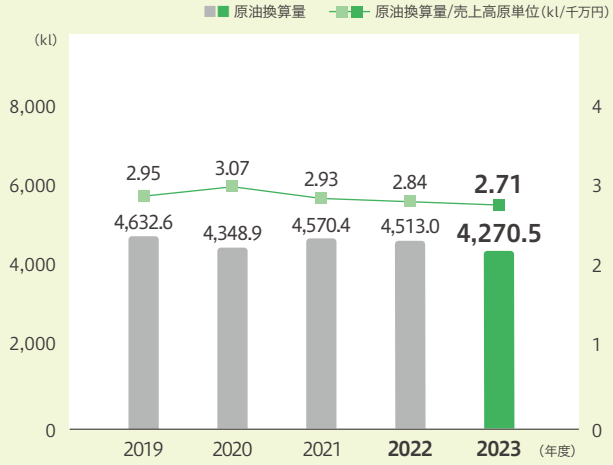


※今回より調整後排出係数を用いた数値に変更しました。

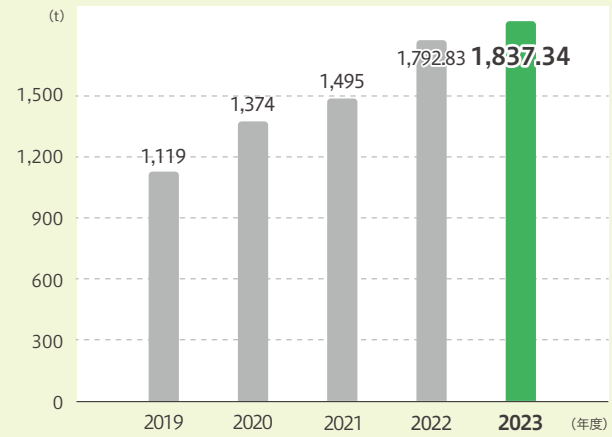
総エネルギー投入量



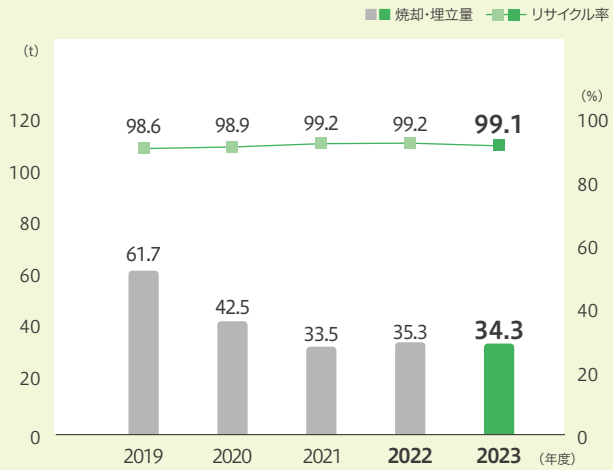
原油換算量／売上高原単位の推移



廃棄物等総排出量

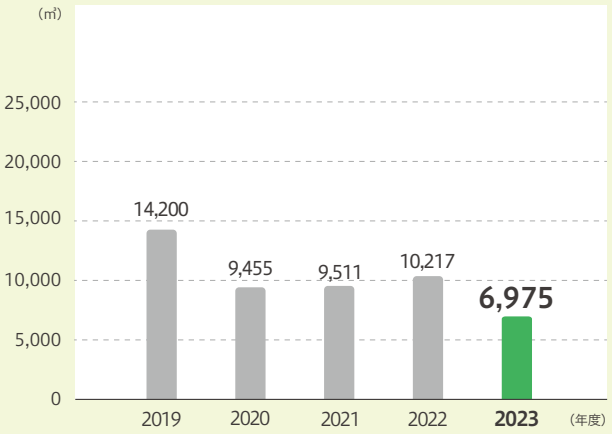


焼却処分・圧縮埋立量の推移とリサイクル率の推移

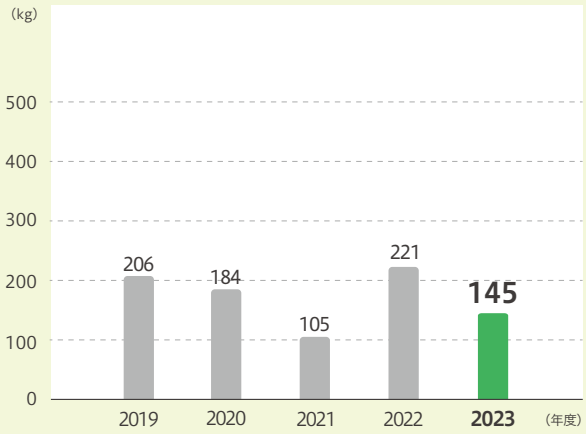


2023年度

排水量



第1種指定化学物質排出量



SCOPE3［サプライチェーン全体の温室効果ガス(GHG)削減］

原材料調達 ≫ 原材料輸送 ≫ 生　産 ≫ 製品輸送 ≫ 廃　棄

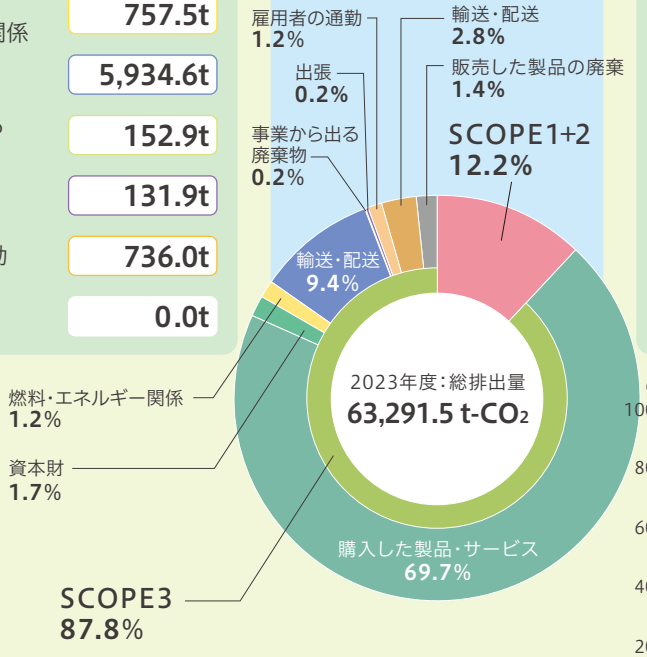
SCOPE 3 上流

購入した製品・サービス	44,141.4t
資本財	1,099.6t
燃料・エネルギー関係	757.5t
輸送・配送	5,934.6t
事業から出る廃棄物	152.9t
出張	131.9t
雇用者の通勤	736.0t
リース資産	0.0t

SCOPE 1&2 自社

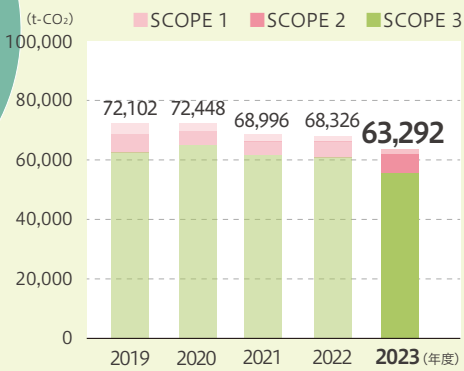
SCOPE1+2

CO_2排出量 7,718.4t



SCOPE 3 下流

輸送・配送	1,747.6t
販売した製品の加工	0.0t
販売した製品の使用	0.0t
販売した製品の廃棄	871.7t
リース資産	0.0t
フランチャイズ	0.0t
投資	0.0t



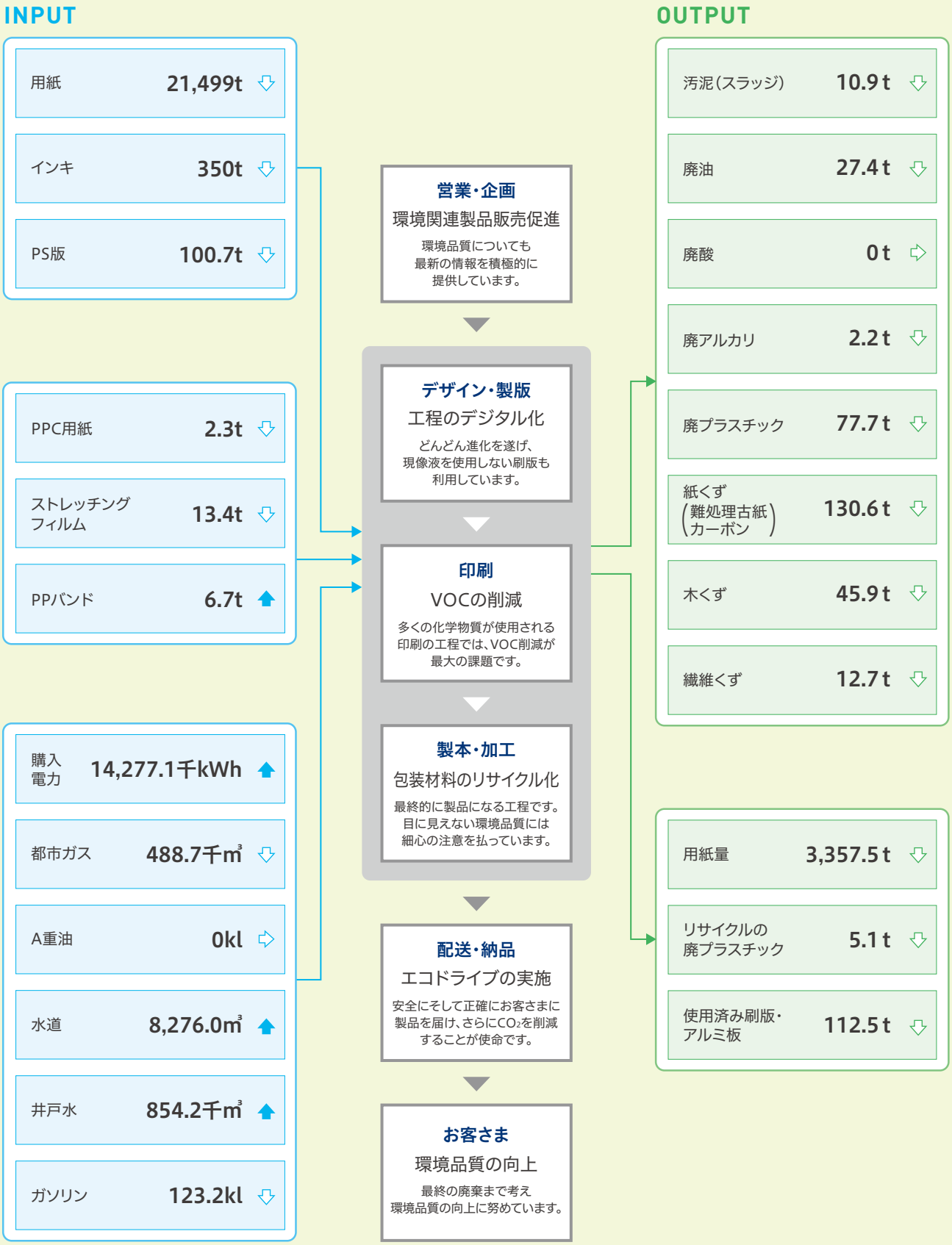
2023年度

2023年度環境活動概要

目標達成　改善が見られたが目標未達　目標未達

	2023年度計画および目標	2023年度実績	評価
省エネ、省資源、リサイクル活動を積極的に推進する	事故・刷り直し報告書のCO_2を対前年度実績20%削減	印刷事故・刷り直しによるCO_2換算量は営業本部で71,230kg（目標比877.8%）、製造本部等合算で169,062.6kg（目標比221.6%）となり目標値を大きく超えてしまいました。リスクの事前把握や教育、2S活動の強化を実施しました。	
	電気使用量原単位対前年比1％削減	本社・各工場の累計電気使用原単位は8,835kWh/千万円（対前年比95.3%）となり、目標を達成しました。LED照明化や省エネ意識の定着により、数値改善がみられました。	
	都市ガス使用量原単位対前年比1%削減	本社工場全体の都市ガス使用原単位は100㎥/十万枚（対前年比100.1%）でした。設備設定や温度管理の見直し、作業効率化に取り組みました。	
	焼却・埋め立てごみの削減（リサイクル率99%以上）	リサイクル率は99.12%を維持し、総廃棄物量も前年度比約4%減少しました。分別徹底や回収体制の強化を実施しました。	
	蛍光灯からLED照明への更新	フォトスタジオ（2023年5月）、本社第3工場（同年6月）、情報館（同年7月）、本社第2工場（同年8月）でLED照明への切替を完了しました。	
	非化石エネルギーへの転換	2023年度の非化石電気量はゼロです。ソーラーカーポートの導入について検討を進めました。	
	電気需要の最適化	デマンドレスポンスの発動日数10日間 デマンドレスポンスの発動時間30時間 デマンドレスポンスの削減電力量 本社工場541kW、第5工場785kW、中工場548kW、西工場291kW／合計2,165kW	
有害物質の削減	化学物質のリスクアセスメントの維持管理	7部署で20件のリスクアセスメントを実施しました。リスク低減措置や現場での安全教育を実施しました。	
	PRTR物質を含む製品追加0（ゼロ）件の維持	PRTR物質の追加はありませんでした。新規登録や既存物質の管理も適切に行いました。	
法と秩序を守り、汚染防止に努める	近隣工場、近隣住民からの異臭クレーム0（ゼロ）件	近隣からの異臭クレームはありませんでした。印刷機6台を対象に実施した臭気濃度測定でも異常はありませんでした。	
	環境設備からの漏洩0（ゼロ）件	設備からの漏洩はありませんでした。巡回や訓練、情報共有体制の強化を実施しました。	
	フロン機器類の簡易点検、定期点検漏れの再確認	エアコン・チラーの簡易自主点検（3カ月ごと）、チラーにおいては年1回の専門業者点検を計画通り実施しました。	
自社独自の環境保全活動の推進	化石エネルギー削減、非化石エネルギーへの転換	再生可能エネルギー活用に向け、エアーハンドリングユニット（井水クーラー）の実証実験計画を立案しました。	
	カーボンオフセット前年度受注件数+2件	営業部全体で受注件数12件（目標29件）・62tの実績となりました。営業提案力や社内教育にも取り組みました。	
	FSC®森林認証紙新規クライアントの獲得前年度受注先実績+2社	FSC森林認証紙の受注先は151社（目標139社）、受注件数1,600件、購入量2,052tです。営業活動を通じ、用紙の切替提案や顧客への説明を実施しました。	
	文具類のグリーン購入80%以上	文具類のグリーン購入率は68.6%（累計総購入金額842,969円、グリーン購入578,492円）です。一部部署で改善がみられました。	
環境マネジメントシステムの推進	更新審査で不適合（カテゴリーB）0（ゼロ）件	2023年度の定期審査で不適合（B）はゼロ、カテゴリーC指摘6件は是正対応を行いました。	
職場教育の完全実施	教育計画の実施率85%以上	教育・訓練の全社実施率は71.8%でした。報告体制や運用面の改善にも取り組みました。	
地域社会との共生	清掃活動、ボランティア活動、工場見学を通じて地域住民とのコミュニケーションの充実	オールサンメッセクリーン作戦（5・9月）、工場見学（8月）、サンメッセ秋祭り（10月）など、地域と連携した活動を実施しました。	

2024年度


INPUT
用紙 21,499t
インキ 350t
PS版 100.7t
PPC用紙 2.3t
ストレッチング フィルム 13.4t
PPバンド 6.7t
購入 電力 14,277.1千kWh
都市ガス 488.7千㎥
A重油 0kl
水道 8,276.0㎥
井戸水 854.2千㎥
ガソリン 123.2kl
営業・企画
環境関連製品販売促進
環境品質についても 最新の情報を積極的に 提供しています。
デザイン・製版
工程のデジタル化
どんどん進化を遂げ、 現像液を使用しない刷版も 利用しています。
印刷
VOCの削減
多くの化学物質が使用される 印刷の工程では、VOC削減が 最大の課題です。
製本・加工
包装材料のリサイクル化
最終的に製品になる工程です。 目に見えない環境品質には 細心の注意を払っています。
配送・納品
エコドライブの実施
安全にそして正確にお客さまに 製品を届け、さらにCO2を削減 することが使命です。
お客さま
環境品質の向上
最終の廃棄まで考え 環境品質の向上に努めています。
OUTPUT
汚泥(スラッジ) 10.9t
廃油 27.4t
廃酸 0t
廃アルカリ 2.2t
廃プラスチック 77.7t
紙くず (難処理古紙 カーボン) 130.6t
木くず 45.9t
繊維くず 12.7t
用紙量 3,357.5t
リサイクルの 廃プラスチック 5.1t
使用済み刷版・ アルミ板 112.5t

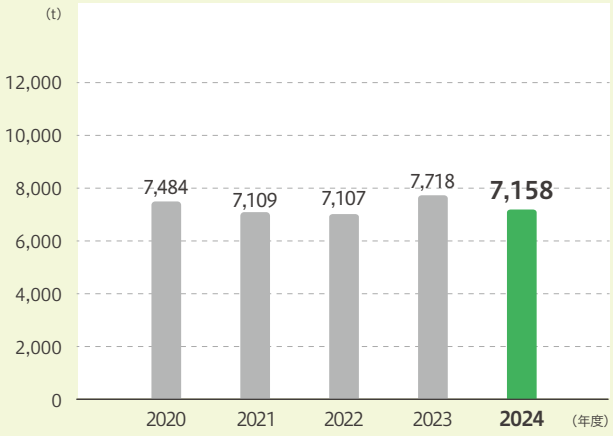
2024年度

リサイクル率 **99.1%**

グリーン購入比率（文具類） **68.1%**

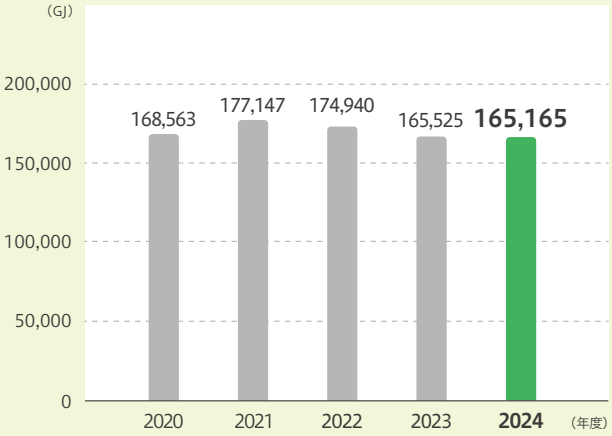
カーボンオフセット件数 **11件**

温室効果ガス排出量（Scope1+2）

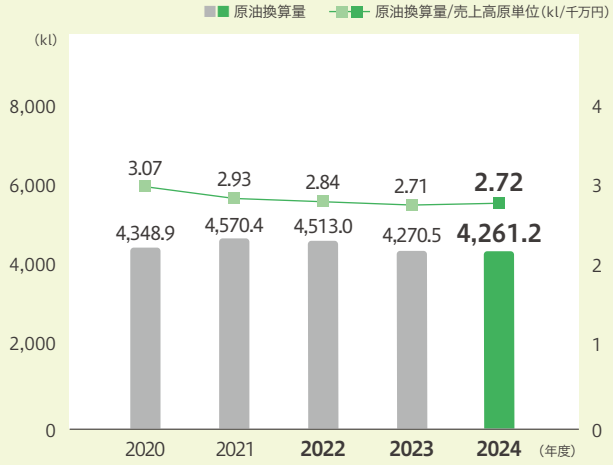


※今回より調整後排出係数を用いた数値に変更しました。

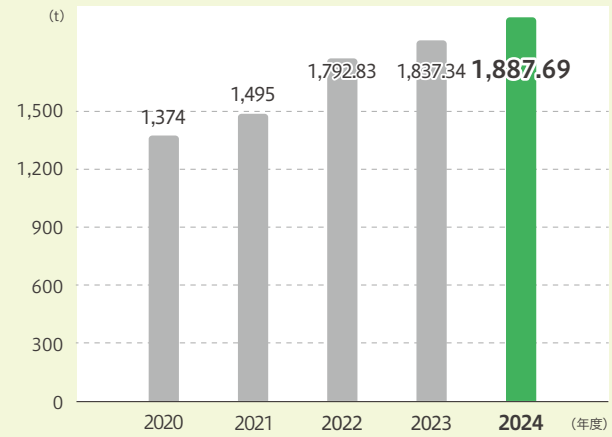
総エネルギー投入量



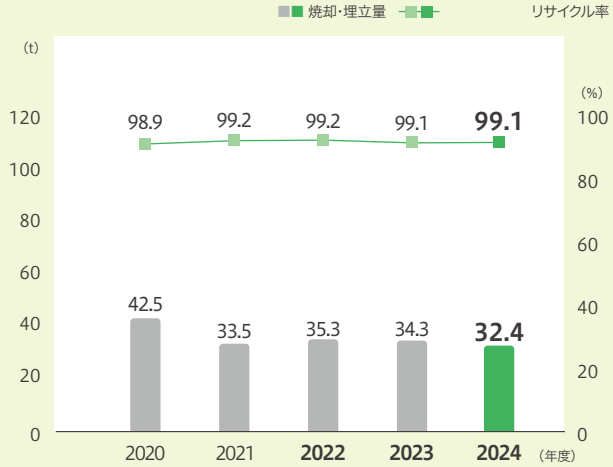
原油換算量／売上高原単位の推移



廃棄物等総排出量

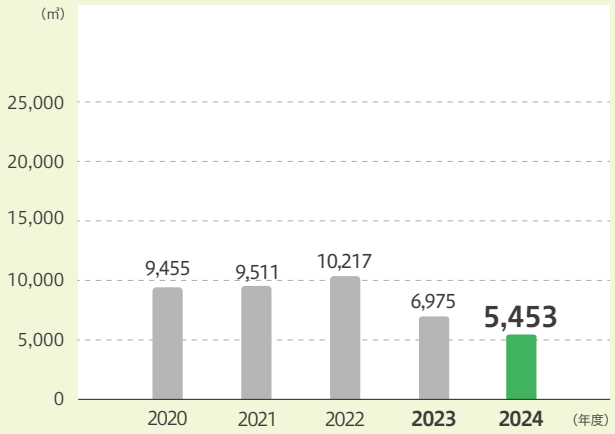


焼却処分・圧縮埋立量の推移とリサイクル率の推移

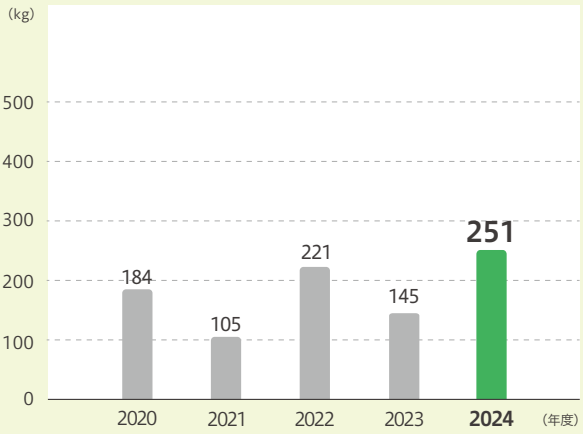


2024年度

排水量



第1種指定化学物質排出量



SCOPE3［サプライチェーン全体の温室効果ガス（GHG）削減］

原材料調達 ≫ 原材料輸送 ≫ 生　産 ≫ 製品輸送 ≫ 廃　棄

SCOPE 3 上　流

購入した製品・サービス	41,203.3t
資本財	1,259.1t
燃料・エネルギー関係	751.2t
輸送・配送	5,525.6t
事業から出る廃棄物	130.0t
出張	131.9t
雇用者の通勤	745.2t
リース資産	0.0t

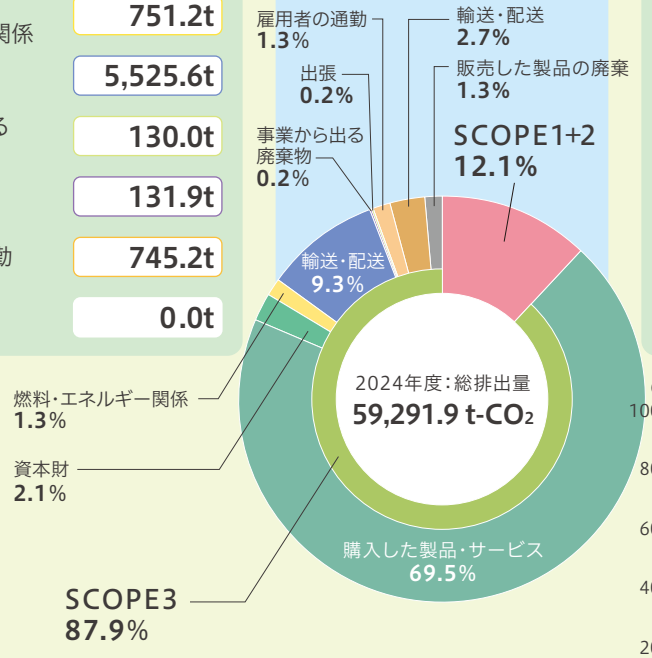
SCOPE 1&2 自　社

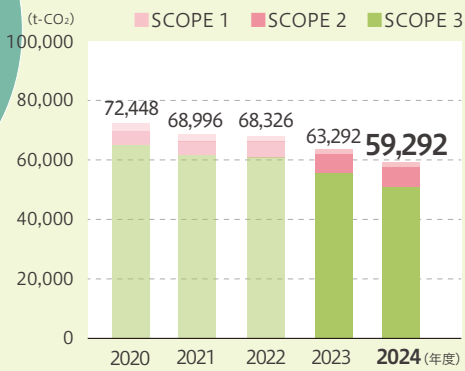
SCOPE1+2

CO_2排出量 7,158.1t

SCOPE 3 下　流

輸送・配送	1,614.6t
販売した製品の加工	0.0t
販売した製品の使用	0.0t
販売した製品の廃棄	772.8t
リース資産	0.0t
フランチャイズ	0.0t
投資	0.0t





2024年度

2024年度環境活動概要

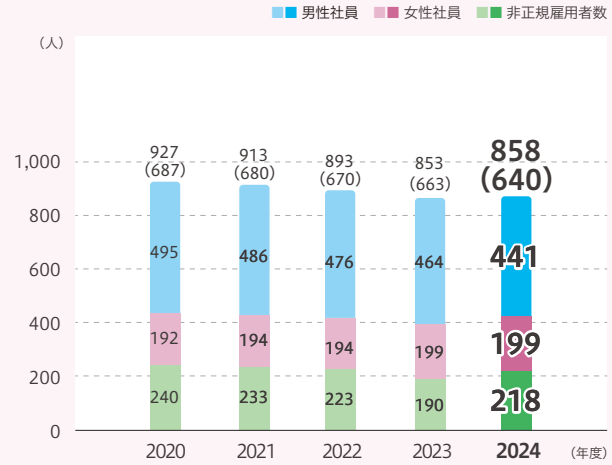
目標達成　改善が見られたが目標未達　目標未達

	2024年度計画および目標	2024年度実績	評価
省エネ、省資源、リサイクル活動を積極的に推進する	事故・刷り直し報告書のCO_2を対前年度実績20%削減	印刷事故・刷り直しによるCO2換算量は営業本部で56,552.6kg（目標比99.4%）、製造本部等合算で148,447.2kg（目標比109.8%）となり、全体として目標値を超えています。	
	電気使用量原単位対前年比1%削減	本社・中・西工場の累計電気使用原単位は8,953kWh/千万円（対前年比101.3%）です。営業拠点等の累計実績は267,572kWh（目標比102.4%、金沢営業部除外時99.7%）となりました。19部署中15部署で目標を達成しましたが、全体としては目標未達となりました。	
	都市ガス使用量原単位対前年比1%削減	第1・第3工場で109㎥/十万枚（対前年比100.7%）、第5工場で77㎥/十万枚（対前年比104.4%）、本社工場全体で101㎥/十万枚（対前年比101.2%）となり、目標未達となりました。第1・第3工場オフ輪工場のガス漏れ警報装置更新工事も実施しました。	
	焼却・埋め立てごみの削減（リサイクル率99%以上）	リサイクル率は99.15%となり、目標を達成しました。総廃棄物量は前年比約2.7%減、各種廃棄物で減少が見られました。産業廃棄物置場の点検・ごみ分別の徹底も継続しました。	
	蛍光灯からLED照明への更新	アメニティハウス養老と本社工場未更新場所でLED照明への更新を実施しました。世安町の社宅と中工場の一部が未了ですが、中工場分の在庫は確保済みです。	
	非化石エネルギーへの転換	2024年度の非化石電気量はゼロです。2025年度にソーラーカーポート設置を予定しています。	
	電気需要の最適化	デマンドレスポンスの発動日数9日間 デマンドレスポンスの発動時間24.5時間 デマンドレスポンスの削減電力量 本社工場0kW、第5工場519kW、中工場201kW、西工場0kW／合計720kW	
有害物質の削減	化学物質のリスクアセスメントの維持管理	5部署で10件のリスクアセスメントを実施しました。全体換気、保護手袋・保護眼鏡の着用など低減措置も実施しています。	
	PRTR物質を含む製品追加0（ゼロ）件の維持	PRTR物質の追加はありませんでした。新規登録時やSDS確認、使用材料一覧表の記載管理も適切に行いました。	
法と秩序を守り、汚染防止に努める	近隣工場、近隣住民からの異臭クレーム0（ゼロ）件	2024年11月に第5工場で隣接会社より異臭クレームが1件ありました。ドライヤーのメンテナンス・運用見直しを実施し、臭気対策を強化しました。	
	環境設備からの漏洩0（ゼロ）件	環境設備からの漏洩はありませんでした。廃液貯槽タンク設置や警報発生時の情報共有、各種保全強化を実施し、警報発生率を70%削減しました。	
	フロン機器類の簡易点検、定期点検漏れの再確認	本社・中・西工場、営業拠点にてエアコン・チラーの3カ月ごとの簡易自主点検とチラーにおいては年1回の業者点検を実施しました。管理機器の確認・点検漏れ防止も進めました。	
自社独自の環境保全活動の推進	化石エネルギー削減、非化石エネルギーへの転換	本社第1工場5Fの空冷式エアコン（7系統・室外機30台）の2025年度更新を計画しました。	
	カーボンオフセット前年度受注件数+2件	営業部全体で受注件数11件（目標24件）でした。東京営業部で7件、新宿2件、名古屋1件、本社1件となりました。	
	FSC®森林認証紙新規クライアントの獲得前年度受注先実績+2社	FSC森林認証紙の受注先は154社（目標164社）、受注件数1,675件、購入量約1,904tとなりました。販促資料の作成・教育活動も実施しました。	
	文具類のグリーン購入80%以上	文具類のグリーン購入率は68.1%（累積総購入1,033,140円、グリーン購入703,132円）でした。拠点ごとの意識向上にも取り組みました。	
環境マネジメントシステムの推進	更新審査で不適合（カテゴリーB）0（ゼロ）件	2024年7月の定期審査で環境カテゴリーBの指摘が1件あり、フロン行程管理票交付の手順明確化と是正処置を実施しました。その他6件の改善の機会についても対応しました。	
職場教育の完全実施	教育計画の実施率90%以上	教育・訓練の全社教育・訓練実施率は95%でした。報告書の提出や回覧の進捗管理を行い、各部署で教育計画管理表の実施も進めました。	
地域社会との共生	清掃活動、ボランティア活動、工場見学を通じて地域住民とのコミュニケーションの充実	5月・10月にオールサンメッセクリーン作戦を実施、8月に工場見学、9月に地域との協働事業（秋祭り）、12月にスタンプラリー&クリーン作戦を実施しました。ガラスびんリサイクル「BinLoop」にも協働しました。	

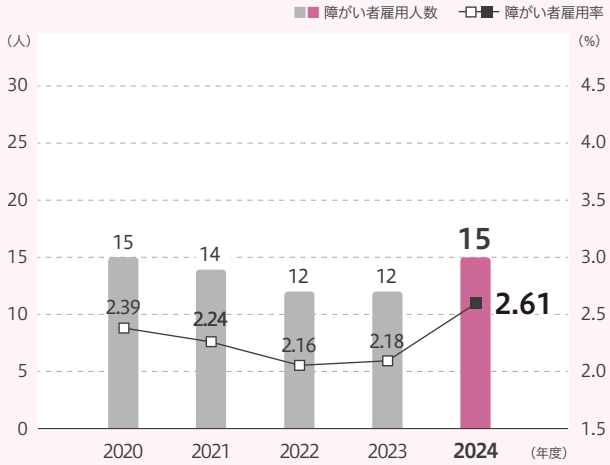
ESG Data

SOCIAL ／ 社会

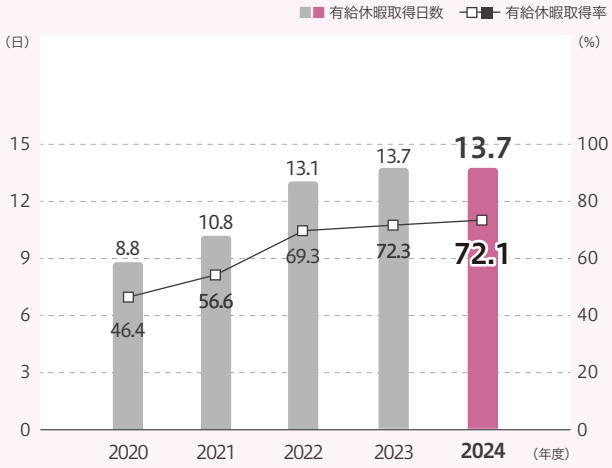
社員数の推移



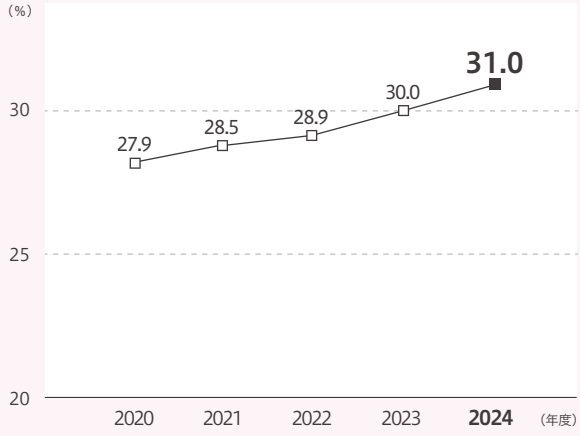
障がい者雇用の推移



有給休暇取得の推移



社員に占める女性の割合（正社員）



社会貢献支出総額（広告協賛費+寄付金）

23,859,325円

資格・技能検定取得
奨励手当支給者数

285名

平均年齢（正社員）

43.5歳

平均勤続年数（正社員）

21.8年

教育研修実施回数

46回

（2024年度 教育計画より）

ISO30414に基づく人的資本経営に関する指標

※注記がない項目は2024年度の実績

4.7.2　コンプライアンス及び倫理	
苦情の件数及び種類	苦情件数　5件
懲戒処分の件数及び種類	懲戒処分件数　4件
4.7.3　コスト	
全ての労働コスト	8,126,868千円
外部の労働力にかかるコスト	3,359,532千円
平均給与及び報酬の割合	年額報酬平均5,543千円（男性 6,095千円、女性 4,320千円）
総雇用コスト	5,154,286千円
従業員一人当たりのコスト	5,185千円
採用コスト	1,500千円
4.7.4　多様性(ダイバーシティ)	
a)年齢	正社員の人数（2024.4.1現在） 0-14（歳）:0名　　30-50（歳）:336名 15-30（歳）:101名　　50 超（歳）:229名
b)性別	正社員の人数（2024.4.1現在） 男性:467名 女性:199名
c)障がい	障がい者雇用率（2024.6現在）　2.61%
4.7.6　組織文化	
エンゲージメント／従業員満足度／コミットメント	従業員満足度調査（2023.12-2024.1実施）
4.7.7　組織の健全性, 安全性及びウェルビーイング	
労働災害の件数	労働災害の状況 労働災害の件数:8件　災害率（度数率）:1.12　強度率:0.021
仕事中の死亡者数	業務中死亡者数　0名
4.7.8　生産性	
EBIT／収益／売上高／従業員当たり利益	208.7千円
人的資本RoI	0.046
4.7.9　採用、異動及び離職	
離職率	新卒3年後離職率（2022年4月入社分）　20%
希望退職率(定年退職を除く)	希望退職率　3.5%
退職／離職の理由／理由ごとの退職・離職者	希望退職者数　23人※定年後再雇用者を除く
4.7.12　労働力の利用可能性	
従業員数	総従業員数（2024.3現在）　994名 ※役員、正社員、嘱託、パート、アルバイト含む
フルタイム換算人数	フルタイム換算人数従業員数（2024.3現在）　866名
臨時的な労働力	パートタイム人員数（2024.3現在）　127名